



精神病態セミナー

社会性行動と視床室傍核における オキシトシンとの関連

演者：山室 和彦 先生

奈良県立医科大学 健康管理センター・副センター長
精神医学講座（兼任）

日 時 2025年 1月 17日（金） 18:00～19:00（質疑応答含む）

開催方法 Zoomを用いたLIVE型のweb形式

参加費 無料

参加方法 1月16日（木）までに下記URLよりお申し込みください。
精神疾患病態研究部のHPからもお申し込みいただけます。

<https://forms.gle/HC3aV5shpnEVg7Um6>

※事前申込が必要です。

社会性行動異常は自閉スペクトラム症（ASD）を含めた多くの精神疾患で見られる症状である。オキシトシンはASDの社会性行動異常に対して効果があるとする報告があるものの一貫した結果が得られていない。過去にマウスを用いた研究において前頭前野と視床室傍核の神経回路にて制御されている社会性行動との関連を見出した。その後、視床室傍核に焦点を絞り研究を行い、視床室傍核においてオキシトシンが社会性行動を制御していることを明らかにした。次に、マウス研究で得た知見を基にトランスレーショナルアプローチから、ヒトASD児における唾液オキシトシンと視床およびASD症状との関連についても明らかにしたため、マウスとヒトに共通するオキシトシン—視床—社会性行動について議論したい。

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部

橋本亮太 Tel: 042-346-2046（内線6255）